

# 解体予定の明石小 建築学会が見解

# 「復興小の原型 重文相当」



日本建築学会が国重要文化財相当との見解を示した明石小学校—東京都中央区で(岡村淳司撮影)

関東大震災から帝都再生のシンボルとして建てられた復興小学校の一つで、老朽化のため建て替えられる東京都中央区立明石小学校について、日本建築学会(会長・佐藤滋早大教授)が「国重要文化財に相当する価値がある」との見解を示したことが分かった。復興小のうち「都歴史的建造物」に指定されている銀座・泰明小や日本橋・常盤小よりも高く評価。校舎の解体は夏休み中にも始まる見込みで区の判断が注目される。

(社会部・岡村淳司)

## 泰明、常盤より高評価

復興小は大正末期から昭和初期にかけ、旧東京市が震災復興事業として整備。児童の安全に配慮するなど時代を先取りした設計思想に基づき、耐震性に優れた鉄筋コンクリート造りで計百十七校が建てられた。

現存する十九校のうち十校が中央区に集中、明石小など七校が現在も使われている。同学会は二月に七校の保存要望書を区に提出。現地調査を実施し、九日付で見解を伝えた。

特に明石小は最初期の設計で、復興小の「原型」になったと強調。円柱やアーチ形の窓など曲線を多用したデザインの高完成度の高さを挙げ「日本近代の小学校建築の原点とみなすことができる」

「復興小の理想型として世に送り出した」などと評価している。区教育委員会は「建て替えは手順を踏んで進めている。指摘された内容を確認し、関係者と協議をした上で、学会に回答したい」としている。



④玄関付近にある重厚な柱 ⑤アーチ形の大きな窓が特徴の講堂—いずれも梅津忠之撮影

# 東京新聞

中日新聞東京本社  
東京都千代田区内幸町二丁目1番4号  
〒100-8505 電話 03(6910)2211



銀座本店六丁目並木通り  
登録商標商号

### 紙面について

●電話 03-6910-2201  
(土日祝日除く) 10:00~18:00

●FAX 03-3595-6935

### 購読お申し込み

0120-026-999  
1ヵ月定価税込み  
(朝・夕刊) 3250円

### 配達・集金について

03-6910-2556

http://www.tokyo-np.co.jp/